



静岡エアコンピュータ株式会社

静岡県静岡市葵区栄町1番地の3 鈴与静岡ビル4階
〒420-0859 TEL:054-653-4800 FAX:054-273-7799

2020年1月29日

レオナルドヘリコプターズ社 AW139型 訓練事業の展開について

静岡エアコンピュータ(株)(略称:SACC,本社:静岡市葵区、代表取締役 米原慎一)はレオナルドヘリコプターズ社との間において、2019年12月上旬、日本で初のレオナルドヘリコプターズ社製AW139型ヘリコプターのフルフライトシュミレーター(FFS Level-D)(模擬飛行装置レベルD)の導入契約調印を行い、レオナルド社のAuthorized Training Center、(略称ATC)として日本国内で訓練事業を展開することで合意、ヘリエキスポ2020年(米国アナハイムにて1月28日~30日開催)において共同発表しました。

AW139型ヘリコプターは既に国内で主要官庁及び民間で計60機が救難・救助活動、哨戒活動及び報道業務で運航されています。国内のヘリ業界における操縦士、整備士の深刻な不足から要員の確保、育成が業界の喫緊の課題となっていること、また 消防・防災においては安全確保の観点から操縦士の2人操縦士体制が義務付けされるなど訓練のニーズが著しく高まっています。静岡エアコンピュータ(株)ではこのようなニーズに応えるため訓練事業の国内展開を決定しました。

導入予定のFFS及び周辺機器装置については静岡空港近隣に既設のFDA訓練センター内に2021年11月を目途に導入され、国土交通省の認可を受けた後、2022年初旬の開業を目指します。なお、静岡エアコンピュータ(株)はATCとして必要な要員体制を確立し、イタリアの訓練アカデミーと同等な教育訓練レベルを確保、レオナルドヘリコプターズ社の審査を受けてATCの承認を受けます。国内において海外のレオナルド社が実施している訓練と同じ教材を使用し、訓練を実施することになります。なお、鈴与(株)航空事業部門には定期エアラインとしてFDA(フジドリームエアラインズ)が運航しており、操縦士の限定変更、技量維持及びCRM訓練をこの坂口のFFS訓練センターで約10年実施しています。同社は使用機材のERJ170/175型のFFSを使用しており、当社としてもこのグループの訓練実績も参考としながら訓練事業を展開します。

※1 FFSの実物写真は別添のとおりです。

本件に係るご照会は以下にお願いいたします。

株式会社フジアビエーションシステムズ プロジェクト事業推進本部 FFS事業推進部
電話番号:0548-23-3118 担当:柿下

以 上

